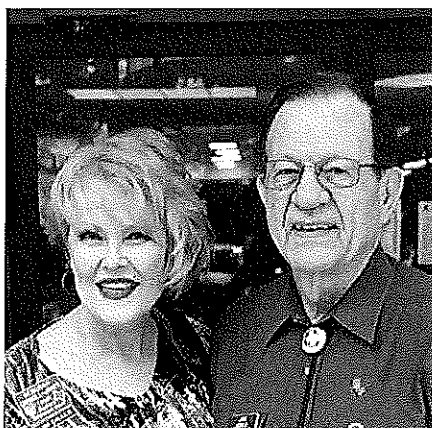




東京スクエアダンスクラブ

第55回創立記念パーティー

特別セミナー



Mr & Mrs. Jon & Deborah Carroll Jones

STYLING

2017年10月9日 (月・祝)

ホテルイースト21東京

東京スクエアダンスクラブ

自身の技術を会得しましょう — より良いダンサーになるには
2017年 CALLERLAB コンベンション (メーサ、アリゾナ州)

スクエアダンスのスタイリング

Jon Jones (ジョン ジョーンズ)

CALLERLAB で述べられてきたように、正しいスタイリングで踊ることは、自分自身のダンスのキャリアを高めます。CALLERLAB はスタイリングには、地域的な違いが存在することを認識しています。しかし全てのダンサーが同じように踊ったとしたら、それは本当に凄く素晴らしいことではないでしょうか？ 手の取り方は同じでしょうか？ 体の動かす方向は同じでしょうか？ 腕と手の繋ぎ方も同じ作法でしょうか？ これらはスクエアダンスをより一層楽しいものにしてくれます。

私がかつて経験した最高のチップは、5名のコーラーと1名のキューアーと一緒にセットになったときでした。そのチップはプラスレベルで、どのタイミングでも正しい位置に手が差し出されていました。全ての前腕をとる動作は前腕をとり、かつ必ず正しいタイミングで正しい位置で腕をとりました。全てが概ね完璧でした。コーラーが Swing をコールした時には、そのセットの全員が少なくとも1回転は Swing を行いました。多くのダンスフロアで見受けられるような、Swing で殆ど回転をしないか、もしくは Swing をする代わりに Twirl をするようなことはありませんでした。「向かいあった人と、どのように手を取るべきか、腕をとるべきか？」などと悩まなくて良いというのは、素晴らしい経験でした。

このことはまさに、アメリカナショナルコンベンションにおいて本当に問題となっています。向かい合うダンサーとどのように手を取るのかを計るのに、ダンサーは多くの時間を割いています。もし私たちダンサーが全て同じように踊ったとしたら、本当に素晴らしいことでしょう。調べてみると、手の取り方について唯一明文化されている方法は、CALLERLAB の定義に記載されたものです。この点について、このテキスト資料に更に詳しく記載して行きます。

多くのコーラーは、スタイリングまで教える時間がないといいます。私はむしろ、彼らはスタイリングを教えない時間がないと言うべきだと思います。

2013年5月に、CALLERLAB はベーシックとメインストリームのプログラム定義の簡約版を出版しました。動作をティーチングオーダーではなく、アルファベット順に定義しました。これらの動作のスタイリングとタイミングについて、コーラーもダンサーもこの文書に照らし合わさないとはいけません。

Alamo Style と全ての Ocean Wave の動作は、「Hands Up (ハンズアップ)」の姿勢で行われたいといけません。これには、Swing Thru, Spin the Top, spin Chain Thru, Touch 1/4, Pass the Ocean や Column (コラム) の隊形も含まれます。ハンズアップの姿勢は指を伸ばした状態と記述されています。手を繋

ぐ際には、指は45度ずらし、回転し易いように指先は曲げるようにしなければなりません。

もちろん、すべての Arm Turn (アームターン) は前腕を取らないといけません。これは Allemande Left, Turn Thru, Scoot Back, Allemande Thru のことです。握手の形で手を取るのには、Right and Left Grand, Right and Left Thru, Dixie Style to and Ocean Wave, Eight Chain Thru, Two Ladies Chain, Square Thru の場合です。

多くの動作の原則は握手の取り方であり、その結果、ハンズアップと前腕を取る方法は省かれてしまい、男性ダンサーには共有されていません。長い期間 CALLERLAB のメンバーを務めることにより、定義に明文化された通りにすべきであると確信するようになりました。

スクエアダンスは常に、「手は軽く繋ぎ」「手は握らず触れる」です。継続的に、繰り返し繰り返し。ダンサーは決して握り締めたり、捕まったりしてはいけません。絶対にダメです!!! それ習慣となると、非常に危険です。ダンサーが年配になればなるほど、転倒してしまわないかと不安になり、結果として、必死に捕まってしまう。これは出来る限り避けたいことであり、必死に握りしめなくてよい方法を教えてもらわないといけません。

紳士は女性をまるでクリスタルのグラスのように扱うべきです。女性は壊れやすいので、最新の注意をもって扱わないといけません。男性が傍の女性を助ける場合は、出来るだけ見栄えよく上手に踊れば、女性の傍で男性は良く見えるでしょう。もし女性の見栄えが悪ければ、男性も悪く見えます。ダンサーは力によるよりも、むしろ抵抗により動作をどのように行うかを教わらないといけません。ダンサーは反作用を生かした踊り方を教えてもらわないといけません。これは、お互いに回転する動作に求められ、全ての動作の反作用が伴うことを言います。

あらゆる動作について、上手い動き方とスタイリングは講習会で何度も示さないといけません。恐らく、全ての動作に20回は必要です。もし自分の子供に「行儀よくしなさい」と躾けるにしても、それが身に付き習慣となるには、何度も言い聞かせなければなりません。

では、個別の動作についてです。全ての動作がこの資料で触られている訳ではありません。問題になりがちな動作に限定しました。

Alamo Style : 通常は Allemande Left もしくは Shoot the Star の後にコールされます。手の取り方は、前腕を取っている姿勢から、ハンズアップの姿勢へと調整(移行)しないといけません。全てのコーナーはダンサーにバランスの仕方も教えなければなりません。多くのダンサーはバランスが片方の足で立って、もう一方の足を蹴るのだと思っています。違います!!! この動きが正しいのは「片方の足で立って、もう一方の足を蹴る」という指示がされた場合だけです。バランスは、片方の足で前にステップし、もう一方の足をステップした足の横につま先をつけ、つま先を付けた足を後ろにステップして、もう一方の足をステップした足の横につま先をつけるのです。左右どちらの足を先に前にステップして

も同じことです。

Allemande Left と Arm Turn は同じスタイリングです ; 反作用し合いますが、きつく握り締めることはありません。片方のダンサーが反作用しないと、非常に貧弱でみすぼらしい動きになります。腕は固定されないとはいけません。男性の腕は、女性に無理のない位置に調整されないとはいけません。

Bend the Line は、簡単にマスター出来ますが、正しく踊らないと非常にだらしく見えます。エンズが前進するとき、センターズは同じだけ後退します。センターズが後退しないことが頻繁にあります。これは殆どの場合、コーラーが十分な時間をダンサーが動くのに与えていないか、もしくは正確に教わっていないためです。新しいラインが作られたら、センターのダンサーは直ちに手を取り合わないといけません。多くのダンサーは直ちに手を取らないので、次の動作を行うためにまごついているように見えます。もし、向かい合ったラインで、

Forward and Back が指示されたら、センターのダンサーは向こう側のラインの中央のダンサーと決してタッチをしてはいけません。エンズだけがタッチして良いのです。

指示されたコールが、Box the Gnat, Star Thru, Touch 1/4 であれば、(左右の) 正しい手を取るの男性ダンサーの責任です。もし男性が間違っただ手を差し出した場合、女性も恐らく間違っただ手を差し出すでしょう。

ダンサーにとって、正しいスタイリングで Box the Gnat を行うには、何度も練習することが必要です。握手の取り方で開始します。ある程度の余裕を持ちながら、男性の指は女性の指を無理なく滑らせることができるように、手を取らないといけません。動作は軽く引くことから始め、女性の頭の上を腕が通過するにつれて力を弱め、動作の終わりには同じく握手の取り方で終了します。非常に簡単な動きです。一部のコーラーは、女性が拳を作り、男性は手をその拳の上に重ねるようにと教え、この動作をボールとソケットのように動かさせます。これは間違っただ動きであり、ぎこちない動きです。正しく行うには、出来る限り簡単に正しく教えることです。

Cast Off 3/4 — ダンサーは Mini-Wave か Couple の隊形で 手を繋いだままにします。コーラーは新しいダンサーに対して、Mini-Wave の回転の中心は二人の間にあることを理解させるように、念を押さないといけません。4人のラインの場合は、エンドのダンサーが回転の中心となります。Wave から Cast Off を講習するときは、動作が完了するまでは、手を繋いでない方の手は下げておくようにして下さい。繋いでない手を早く上げすぎると、間違っただダンサーと早く手を取ってしまうことになるからです。

Double Pass Thru が完了した隊形から Centers In を指示する場合は、前のダンサーが外側へ離れて分かれ、隊形の内側へ手を伸ばすように教えてください。後ろのダンサーは前にステップして、前のダンサーと手を取ります。腕を組んではいけません！！これは35年前に禁止されています。腕を組むのは、危険を伴う場合があります。ダンサーが正しく手を取っている状態から、Cast Off 3/4 が指示された場合、回転動作を簡単に行うために、腕からひじにかけて多少の力をかけなければなりません。

ダンサーは常に手を準備が整った位置に置かなければなりません。手はポケットに入れてはいけません。ダンサーは他のダンサーと手を下して手を繋いではいけません。Circle Left(Right)や Promenadeの際に、腰の位置よりも手を下に下げているダンサーもいます。これは女性にとって見栄えが悪くごちなく映ります。手は腰の位置よりも上でないといけません。

ダンサーが Circle to a Line の動作を行うとき、頻繁に左側のダンサーが右側のダンサーが動作を完了していないタイミングでも、横へ移動する動作を止めてしまいます。左側のダンサーは頻繁に Forward and Back の動作を直ぐに行います。(もしかすると、この動作を行うのに、コーラーが 8 カウントの時間を与えていないからかもしれません。) また、女性がアーチをくぐって動作を終了するのに、その動作の開始があまりにも早かったり、隣の男性があまりにも早く手を挙げてアーチを作ってしまうと、正しい位置へ行こうとするあまり、動作は非常にごちなく映ります。アーチは 6 カウント目に作り始めないといけません。そして、次の動作が Forward and Back であったら、もう 8 カウント取らなければいけません。

多くのダンサーが行う Courtesy turn のやり方も、正しく行われた場合ほど美しくありません。左手を握手の手の取り方で、この動作が行われることが非常に多く見られます。恐らく、この現象は Square Thru が頻繁にコールされるためであろうと私は考えます。Square Thru での左手の取り方は握手の取り方であるため、Right and Left Thru を行う際に、動作の開始が Square Thru と同じなので、ダンサーは無意識(筋肉の記憶)に左手を誤って取ってしまうのです。男性の左手は手のひらを上にして伸ばし、女性は左手の手のひらを下にして男性の手のひらの上に重ねなければなりません。男性が女性をリードして一緒に回転できるように、女性は指を男性の人差し指の上に軽く曲げなければなりません。女性はほんの少し力を入れますが引っ張ってはいけません。女性はスカートを持つか、或いは、まるで「お茶に出かける (High Tea)」かのように気楽に手を伸ばして位置を保ち、男性は右手を女性の腰のくびれた部分に添えます。女性は手を背中に回してはいけません。もし女性がそうしてしまうと、男性は手を女性の手の上に重ね、殆どの場合、男性は力強く女性の手を握り、動きを制限してしまいます。右手は次の動作に備える必要があります。

多くのダンサーは、まるで Highland Fling (フリング: スコティッシュダンスのステップの一種) のように、お互いに右腕を回して Dosado を行います。そのようにはしないように、私はダンサーに指導します。まるで汚らしい年配の男性が気分を紛らす風だと私は感じます。

正しい隊形を崩さないために、Eight Chain Thru の Courtesy Turn の部分の動きを、コーラーはもっと強調する必要があります。さもなければ、動作がどこで完了するのかを見失い、次の動作に対して正しい位置にいない可能性があります。

女性がセンターの Ocean Wave の Quarter Tag の隊形から Extend がコールされた場合、殆どの男性は前進を行わず、逆に女性も同じです。動作後の Ocean Wave の隊形(配列)に関係なく、ダンサーは

全員が前進するように指導しないとけません。

Ferris Wheel の動作を行う場合、内側を向いているダンサーは Wheel and Deal の動作を開始する前に、内側のダンサーはお互いに手を取り Two Faced Line の隊形を確認しないとけません。多くの場合、内側を向いているダンサーが通常のカップルの並び（男左女右）だと、男性は動作後の位置へ近回りする傾向にあり、女性も動作後の位置へ後退して進んでしまいます。これはぎこちなく見栄えの悪い踊り方に映ります。その動作を正しく行うための十分な時間を、あまりにも多くのコーラーがダンサーに取らせないためです。6 カウントで踊らないといけません。

Flutter Wheel/Reverse Flutter Wheel : リードするダンサーは二の腕前腕を取らないといけません。もう一方のダンサーは、コールがされたら速やかに前進して、できるだけ早く向かい側のリードダンサーと手を取らなくてはなりません。

Forward and Back : この動作を正しく行うために、コーラーは十分な余裕をダンサーに持たせないといけません。もし不十分だと、非常にぞんざいな動作に映ります。「定義の簡約版」でカウントを確認してください。

Grand Square は正しく行われると、非常に見て美しい動作です。もしそうでないと、非常にだらしない動作に映ります。動作の半分の位置、または終了する時点でスイングは行いません。動作の半分と終了する位置で、向かい合うダンサーと両手を合わせるように指導しましょう。"Heads Face"からコールされた場合、サイドは 16 カウント目で全体の半分の位置、ヘッドは 32 カウント目に両手を合わせます。4 カウント目ごとに、square（四角）の角を作ることをダンサーに指導しないとけません。多くのダンサーはこの動作が、殆ど円を描くように動き、この動作の正しい意図を見失っているように見受けられます。

Two Ladies chain : 向かってくる女性を受け止めるために、男性は女性が空けた位置へ、しっかりと移動しないとけません。正しく Courtesy Turn を行うために、男性は体を少し左向きにしないとけません。

Recycle の動作は、多くのダンサーがその条件を満たしていません。多くの場合、原因は指導の初期の段階で、十分な説明がされていないためです。カリキュラム (Teaching Order) の最後の動作なので、卒業までの講習時間の中で、ダンサーが十分な練習ができないのです。たとえ卒業後でも、ダンサーが実際のダンスの場でも、正しい解説での復習が必要です。「Hinge して、Hold して、Follow して向き合う (Face)」と指導します。これは経験の少ないダンサーが、この動作の正しい動きを理解するのに役立つようです。「センターが U-Turn Back をして Wheel and Deal をする」ではないのです。「Crank (折り曲げる) して回る」ではないのです。この動作を開始するのに、エンドダンサーはセンターダンサーを導くことができるのです。

Grand Right and Left は、装飾 (アレンジ) や、トワールや、back-lashes (原文ママ。意味?) など、世界各地で多くのダンサーにアレンジで楽しまれています。怪我を伴うことも多々あり、時としてひどい怪我に至ります。力の入れ具合を調整しきれずに、時として「ダンス」ではなくなってしまう。よくあるのが、男性が女性をトワールしたり、男性が女性を抱きかかえてセットを歩くなどです。私のスタイリングの講習では、全てのダンサーが男女の位置を交代し、その様な踊り方をしてもらいます。女性は男性役をし、男性はその逆をします。Grand Right and Left や Weave the Ring をしながら、女性は男性をトワールしたり、回したりするように指示します。ダンサーは多少は面白がりますが、もっと重要なことである、これらの動きが女性にとって危険であることに男性は気づき始めます。女性は非常にか弱く、男性はそのことを考慮しなくてはなりません。

Spin Chain Thru と Spin the Top は類似したスタイリングです。ダンサーは次の動作に対応できるように手を置きますが、他のダンサーと手を早く取りすぎないように、それぞれの動作のすべての役割を練習しないとはいけません。

Swing は全ての動作のなかで、最も素晴らしく美しい動作です。Swing を上手にできるようになるには、十分な練習が必要です。一方のダンサーが walking step を行い、もう一方のダンサーが buss step をスムーズにできたかすると、上下に振れることなく、二人は非常に上手く組み合わせあって、スムーズで流れるような動きになります。カップルが Swing の隊形を組む時は、女性は少し胸を張って背中を伸ばし、男性は女性を抱えるようにサポートします。お互いに少し押し合う (男性は左手、女性は右手) 様にながら回転する動作を行います。必要に応じて、女性は男性の右肩もしくは右腕の方向へ力を入れます。これは、男性が Swing をどれくらい続けても良いかを示します。男性は自身の本来の位置を維持できる範囲で女性と Swing し、女性を傍に置くように動作を終えます。Swing を行うときはいつでも、相手はパートナーです。よく見かけるのは、シンギングコールでコーナーと Swing をして Promenade をするとき、音楽の 1 ~ 2 ビートの間に手を抜いた Swing を行い、男性は女性をトワールして Promenade に移ります。これは Swing ではありません!!! この様な踊り方がされる地域では、多くの女性が Swing は目が回ると言います。これらの女性は、その様な踊り方しか知らず、経験したことがないので、Twirl が Swing のことだと思っています。彼女たちに違いを示してあげると、彼女たちは「Swing って大好き! 全然面倒じゃない。」と言います。上手に Swing できるダンサーにとって、Swing より素晴らしいものはないのです。

Allemande Thar がコールされ、男性が内側で歩くのが早すぎると、Shoot the Star の指示がされ、女性を内側に送り込む際に、女性は非常に早く歩かなくてはなりません。男性がゆっくりと歩くことが常に必要です。

最後に、私たちコーラーは過去 30 年ほどの間、ダンスの質が本当に低下したままで放置してきました。今こそ、ダンスの質を向上させるために努力しなくてはなりません。それを実現する唯一の方法は、我々の講習会であり、指導です。スタイリングについての指導が終わったとき、ダンサーは実際に練習重ね

なければなりません。正しいスタイリングについての説明は頻繁には行われません。アメリカナショナルコンベンションでは過去数年間にスタイリングの指導があり、ダンサーと一緒に実際のダンスフロアで行われたものは、より一層の成果がありました。

多くのダンサーはスタイリングの講習に感謝していると言います。彼らはコーラーに、更に正しいスタイリングを示すことを求めています。また、私たちが男性に、女性をどのように扱うべきかを示したことに、多くの女性は感謝しています。

良いスタイリングは体の動きと、動作と動作の連続を補完することにより、ダンスのキャリアを大いに高めてくれます。